

やまりん新聞



ボルト用保護カバー

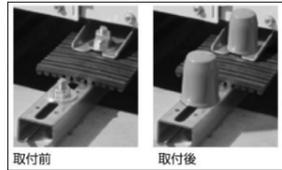
○ボルト用保護カバー

丈夫で安心。保護して安全。
・平座金付きダブルナットを完全収納

・荷重や衝撃に強い特殊樹脂製

・突出したボルトをかばい、ひっかけ事故によるケガを防止

・複数サイズのねじ径に対応
・黄色は注意喚起をうながす安全色を採用(JIS Z 9103に準拠)



○ボルト用保護カバーハカマ

ボルト用保護カバー(16型以上)使用時に、ねじの長さが適合ねじの長さより長い場合に使用します。

ボルト用保護カバーを取り

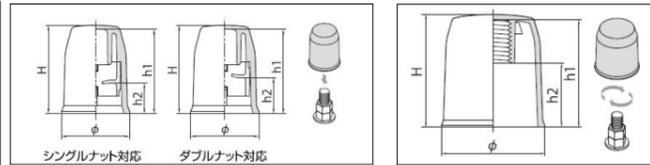
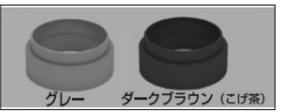


図1 10型・13型・16型 ボルトの上から押し込みます。 図2 20型～42型 ボルトにナット締めします。

表1 ダブルナット対応

種類	グレー	ミルキー	ダークブラウン	透明	黄色	適合ねじ径		適合ねじ長さ(mm)
						ミリネジ	インチネジ	
10型	○	○	○	○	-	M8, M10	W3/8	25~42
13型	○	○	○	○	○	M12, M14	W1/2	32~47
16型	○	○	○	○	○	M16, M18	W5/8	41~56
20型	○	○	○	○	○	M20	W3/4	47~60
22型	○	○	○	○	-	M22	W7/8	M22:51~70 W7/8:51~61
24型	○	-	○	○	-	M24	W1"	57~80
27型	○	-	○	○	-	M27	-	62~95
30型	○	-	○	○	-	M30	W1 1/8	69~105
36型	○	-	○	○	-	M36	-	94~154
42型	○	-	○	○	-	M42	-	94~154

表2 シングルナット対応

種類	グレー	ミルキー	ダークブラウン	透明	黄色	適合ねじ径		適合ねじ長さ(mm)
						ミリネジ	インチネジ	
シングル10型	○	○	○	○	-	M8, M10	W3/8	21~42
シングル13型	○	○	○	○	○	M12, M14	W1/2	24~47
シングル16型	○	○	○	○	○	M16, M18	W5/8	30~56

付ける前に設置します。

- ・ボルト用保護カバーの高さ調整に使用します。
- ・ハカマは段積みが可能です。

バリ取り工具：シャビーズ

シャビーズは手作業によるバリ取りを効率よく簡単に快適に、そして確実にできるように開発された工具です。

ハンドツールですからワークを移動したり、段取り

を整える必要がなく、写真1 SHAVIV(シャビーズ) また特別の技能も設備も要りません。



バリがくるくると、しかも均一に取れてゆきまは快適です。80種類以上ものブレードがあり、用途やワークに応じてお選びいただけます。

○新登場：シャビーズ・エクスプレス

ブレードが「10本では多すぎる・・・」 そんな声にお応えして、お好きなブレードを1

本よりご購入いただけるようになりました。

○回転系バリ取り工具の選び方

1. ブレード(刃)を選ぶ

- ・サイズで選ぶ
軽切削用のφ2.6mm(Bシリーズ)、
重切削用のφ3.2mm(Eシリーズ)

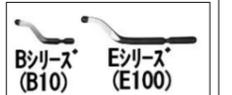


写真2 ブレード(刃)

・ワーク(被切削材)で選ぶ

鉄、アルミ、銅、真鍮、鋳鉄、ステンレス、焼入鋼、プラスチック、超硬・ガラス

・材質で選ぶ

HSS、コバルトハイス、TiNコーティング、超硬、ダイヤモンド(電着)



写真3 伸縮ホルダー

・機能で選ぶ(切削方向)

右(正)回転、左回転、両刃(両回転)、片平行、左右平行

・用途で選ぶ(加工箇所)

稜線、外角、内周裏側、平面、キ溝エッジ、内周表

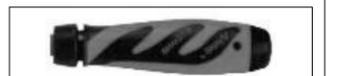


写真4 ハンドル

側、内周表裏同時、穴内壁、板材、谷角コーナー

2. 伸縮ホルダー(写真3)を選ぶ(ロングリーチ使用の場合)

3. ハンドル(写真4)を選ぶ

詳細はお問合せください。

カスタム仕様の交換アダプタ

ねじ交換アダプタの標準パターンを、弊社ウェブサイトに掲載させていただくようになり、ねじ交換アダプタのお問い合わせを多くいただくようになりました。

下記URLに、標準タイプのねじ交換アダプタ、ADC MMシリーズ(オネジ-オネジ型)とADCMFシリーズ(オネジ-メネジ型)とADCFFシリーズ(メネジ-メネジ型)を掲載しています。

<https://www.ymzcorp.co.jp/ym11/nejiadapter.html>

今回は、お客様のご要望にもとづき、制作させていただいた「カスタム仕様のねじ交換アダプタ」をご紹介します。



写真5 左:ボールケットエンド①と右:マイクスタンド②

お客様のご要望内容は、写真5のボールケットエンド①と音楽用のマイクスタンド②の接続です。

①は、アメリカ製の部品で、ネジサイズがNPT1/4"

で、②は、ドイツ製の部品で、ネジサイズ3/8AKG規格(≒ワット3/8")というものです。

ネジサイズがまったく異なるので、そのままでは接続できません。

そこで図3、写真6のねじ交換アダプタを作製して①と②を接続しました(写真7)。

ねじ交換アダプタの色は、①と②に合わせて「黒色メッキ」を施工しました。

弊社では、今後もお客様のご要望にお応えし、お客様オリジナルのねじ交換アダプタをご提供して参ります。

まずは、弊社まで、お問い合わせください。専任のスタッフがお客様にお応えさせていただきます。



写真6 交換アダプタ

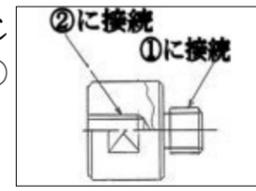


図3 交換アダプタ



写真7 ①と②接続完了

ねじの雑学

弊社店頭には本金メッキを施した太径キャップスクリューを展示しています。膜厚は0.1μmということで、膜厚は薄いですが、美しい黄金の輝きを放っています。

金色は人目を引くのでしょうか、記念写真を撮られる等、興味を持たれるお客様がいらっしゃいます。

そこで、金色のメッキにはどのようなものがあるか、調べてみました。(※)

1. 本金メッキ

下地にニッケルメッキを張り、その上に本物の金を張る。錆びにくく熱や電気の良導体で、高温での酸化にも強い。装飾品、電子部品などに使用される。

2. 黄銅メッキ

下地にニッケルメッキを張り、その上に銅と亜鉛の



写真8 本金メッキを施したキャップスクリュー(左下はスマホ)

合金である黄銅を張る。黄銅は金と色合いが似ているので、これを代金メッキと呼ぶ人もいますが、金と比べ黄色っぽい。

3. 代用金メッキ

下地にニッケルメッキを張り、その上に黄銅よりも銅の比率が高い銅と亜鉛の合金を張る。黄銅メッキに比べ赤みがあり、より本物の金に近い。

4. ゴールドメッキ

下地に亜鉛メッキを張り、その上に染色タイプのクロム酸によるクロム被膜で金色に色づけしている。

代用金メッキの色合いに比べやや安っぽい感じのする色で、クロムの金色のような色である。

なお代用金もゴールドも、色合いとして本金メッキの代用として利用されますが、金の性質がないので注意が必要です。

冒頭のキャップスクリューは現在も弊社店頭で展示中ですので、一度見学にお越しください。ちなみに、このキャップスクリューの金の量は微量で、金銭的価値はほとんど無いようです。あしからず。

※ サイエンス・ストリームのサイトから引用しました。